

第41回

現代のポピュラー音楽 ～ジャズ・ロックそして…～

学習のねらい

現代を代表する音楽といえばどのようなジャンルを思い浮かべますか？ 私たちがテレビやラジオをつけたときに流れてくるのは圧倒的に、広義の「ポピュラー音楽」です。皆さんが好んで聴く音楽もロックやポップスやヒップホップではないでしょうか。今回は、そうしたポピュラー音楽の中から、ジャズやロックなどのジャンルを取り上げて、その歴史や特徴を考えてみたいと思います。



講師
沼野 雄司

ジャズの誕生について理解を深める

ジャズと呼ばれる音楽の源流をたどってゆくと、19世紀末のニューオーリンズという町にたどり着きます。このアメリカ南部の町には多くの酒場があり、ここではピアノや、南北戦争の軍楽隊で不要になった管楽器を用いて、陽気で気楽な音楽が演奏されるようになりました。重要なのは、この新しい音楽を担ったのが、もっぱらアフリカ系アメリカ人、いわゆる黒人であったことです。

彼らの先祖の多くはアフリカ大陸から奴隷として、この国に連れてこられました。いわば、彼らが先祖から培った黒人霊歌や労働歌の節回しと西洋の楽器が港町で出会ったときに、ジャズという音楽が生まれたわけです。多様な文化が衝突したエネルギーから発生したジャズは、その意味で、まさにアメリカ的な音楽といえるでしょう。

ロックと若者文化の関係について考える

酒場の軽音楽として誕生したジャズは、やがてシカゴやニューヨークといった大都市に波及し、とりわけ1920年代の好景気に沸くアメリカではダンスホールの音楽として大きな発展を遂げます。こうしたビッグバンドによるジャズを一般に「スウィング・ジャズ」と呼んでいます。

1940年代に入ると、大衆的なダンス音楽ではものたりないという若いミュージシャンたちがニューヨークのクラブに集まり、少人数のメンバー同士で即興演奏を繰り広げる「ビ・バップ」という新しいスタイルを作り上げました。チャーリー・パーカーに代表されるこうした動きは近代のジャズの出発点となり、その後マイルス・デイヴィスなどによる多種多様なジャズの形態を生み出すことになりました。

一方、1950年代にあらわれたロックも、ブルーズやゴスペルといった黒人音楽と、白人のカントリー・ミュージックが出会い、衝突したときにあらわれたジャンルです。その意味ではやはりアメリカ的な音楽といえます。

ロックはその誕生当時から、若者の心情を代弁する音楽として発展を遂げました。大人社会に対する不満、青年特有の不安や憧れをロックという音楽がすくい取っていったのです。

音楽においてテクノロジーが果たした役割について考える

20世紀以降の音楽を考える上では、テクノロジーの進化を無視するわけにはいきません。クラシック音楽というのは、当然ながらマイクもスピーカーもない時代に始まりました。しかし、ポピュラー音楽の歌唱というのは、その多くがマイクを使うことを前提にしている、よりさまざまな歌い方が可能になりました。例えばブラジル発祥の「ボサノヴァ」とよばれる音楽ジャンルでは、軽く口ずさむような、時にはささやくような歌声が特徴的です。

マイクの影響は歌だけにとどまるものではありません。クラシックの演奏会の場合、アコースティックの楽器はそれほど大きな音を持っていませんから、多くの聴衆が騒いだりしたら、演奏が聞こえなくなってしまいます。一方でポピュラー音楽、例えばロックのコンサートでは、楽器も、もちろん声もスピーカーで増幅されるので、4人のバンドが1万人の観客の前で演奏することも可能です。

さらに、現代のレコーディング技術は、さまざまに音を変化させることや、一人あるいは数人の声をもとにして大合唱を作るようなことも可能にしました。

最後に、世界のポップ・ミュージックシーンを席けんしているラップ・ミュージックについても触れておきましょう。「ラップ」というのは、基本的には単純なリズムの上に、まるで喋るように言葉をのせていく音楽ですが、主に黒人たちの間で広がったこともあり、ラップはしばしば、黒人の自由や権利を主題にすることにもなりました。この場合には音楽が、一種の社会運動にもなっているのです。

♪ 今回取り上げる曲 ♪♪♪

- | | |
|---------------------------|-----------------------------|
| ● 「枯葉」 | 演奏者：ビル・エヴァンス・トリオ |
| ● 「So What」 | 演奏者：マイルス・デイヴィス（トランペット）のグループ |
| ● 「Rock around the clock」 | 演奏者：ビル・ヘイリー |
| ● 「抱きしめたい」 | 演奏者：ビートルズ |
| ● 「Cry for the Nations」 | 演奏者：マイケル・シェンカー・グループ |
| ● 「想いあふれて」 | 演奏者：ジョアン・ジルベルト |
| ● 「素敵じゃないか」 | 演奏者：ビーチ・ボーイズ |
| ● 「Fight the power」 | 演奏者：パブリック・エネミー |